

「美郷町」10年の軌跡 平成22年度〜平成23年度

美郷総合計画「後期基本計画」スタート

平成17年度に策定した美郷町総合計画「前期基本計画」が平成21年度で終了したことから、本町を取り巻く社会経済情勢を見極め、平成22年度から平成26年度まで期間とする「後期基本計画」を策定しました。

後期基本計画から、重点的に取り組んでいく事業施策を新たに「まちづくり戦略プロジェクト」として位置付け、「農商工連携（地産地消）」「子ども育成」「水環境保全」「交流促進」「安全・安心」の五つをプロジェクト化しました。

あきたふるさと手作りCM大賞2010で美郷町が最優秀賞を受賞

秋田朝日放送主催の「あきたふるさと手作りCM大賞2010」で、町と町観光協会の若手有志が合同で制作したCMが最優秀賞を受賞しました。

町の財産である清水をテーマに制作されたCMは、町内27カ所の清水の名前をメロディにのせて紹介しています。CMは秋田朝日放送で東北6県を含め年間365回放送され、多くの人に町の魅力を届けました。



町の魅力発信するための新たに美郷大使を委嘱

町では、学識経験者や文化人などで、知名度の高い方々に町の魅力発信やまちづくりへの提言をいただくこと、新たに「美郷大使」を委嘱しました。平成22年には、美郷町出身の町田睿さん（フイディアホールディングス(株)取締役会議長）と佐々木毅さん（元東京大学総長、本町にゆかりのある永田萌さん（絵本作家・イラストレーター）を美郷大使に委嘱しました。平成25年には、高階秀爾さん（美術評論家・大原美術館長）を美郷大使に委嘱しました。

東日本大震災被災地への支援の輪広がる

平成23年3月11日に、三陸沖を震源とする「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）」が発生し、本町では震度4の強い揺れを観測しました。同日、美郷町災害警戒部を設置し、被害状況等の把握、要援護者の安全確認、避難所の設置、被災者受入施設の開設などが行われました。

被災地への救援物資の受付を行ったところ、多くの町民の方々からご協力をいただき、3月20日には、約150箱分の物資を秋田県仙北地域振興局に搬入しました。

3月23日には、震災で大きな被害を受けた岩手県大船渡市に、米や水、味噌などの支援物資を輸送しました。



平成22年度（2010年度）

- 4月1日
 - ・六郷小学校開校
 - ・美郷町総合計画「後期基本計画」スタート
 - ・美郷町農業委員会選挙委員定数条例の全部改正により、定数を20人から16人に改正
 - ・美郷町出身の町田睿さん（フイディアホールディングス(株)取締役会議長）と佐々木毅さん（元東京大学総長、本町にゆかりのある永田萌さん（絵本作家・イラストレーター）を美郷大使に委嘱
- 8月
 - ・農林水産省選定「ため池百選」に一丈木ため池が選ばれる
 - ・「美郷町災害時等要援護者支援実施計画」を策定
- 8月25日
 - ・ひとり暮らしの高齢者などを対象に緊急情報キット「みさと安心パック」の配布を開始
 - ・過疎地域自立促進特別措置法に基づき「美郷町過疎地域自立促進計画」を策定
 - ・粗大ごみの戸別有料収集開始
- 11月23日
 - ・あきたふるさと手作りCM大賞2010で美郷町が最優秀賞を受賞
- 3月11日
 - ・平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生
 - ・「第2次美郷町社会教育中期推進計画」を策定
- 3月20日
 - ・町民からの被災地への救援物資、段ボール約150箱分を秋田県仙北地域振興局へ搬入
- 3月23日
 - ・岩手県大船渡市に米2トン、水540リットル、味噌200キログラム、醤油300リットル、乾燥野菜等の支援物資を輸送

かけがえのない水環境を未来へ 名水サミットin美郷

平成23年7月1日、全国の名水百選の所在する市町村からなる全国水環境保全市町村連絡協議会の全国大会「名水サミットin美郷」が美郷町公民館で開催され、関係者や町民など約400人が参加しました。

サミットでは、前年度開催地の佐賀県小城市の江里口市長、次年度開催地の群馬県片品村の千明村長、松田町長ら3名が各自自治体での水環境保全の取り組みを紹介したほか、見城美枝子さん（エッセイスト）の基調講演、町内小・中学校の子どもたちによる学習発表などが行われました。

最後に、「水環境を通じた意識啓発に努めること」「森をはじめとする自然環境の保全に努めること」

「水環境を未来に引き継いでいくこと」を内容とする大会宣言が読み上げられると、会場からはたくさん拍手が送られ、参加者全員の賛同で採択されました。



平成23年7月2日には、県外から全国大会の参加者を対象に、六郷湧水群や「後三年合戦」古戦場などを巡る、オプショナルツアーも開催されました。

大学との連携を開始

平成23年5月13日の秋田大学を皮切りに、平成24年2月16日に秋田県立大学と、平成24年12月17日の国際教養大学と、それぞれ連携協定を締結しました。今後は、町と大学が保有する資源や情報等を活用し、地域活性化を図ってまいります。



長野県東御市と「災害時における相互応援に関する協定(防災協定)」を締結

平成23年10月15日に、長野県東御市と「災害時における相互応援に関する協定(防災協定)」を締結しました。

美郷町と東御市とは、友好都市である東京都大田区の物販イベントなどを通じて交流を深めてきました。今回の防災協定締結により、美郷町、東御市、大田区の3自治体が災害発生時に相互に協力できる体制が整いました。



平成23年度(2011年度)

- 5月13日
 - ・美郷町と国立大学法人秋田大学が「美郷町と国立大学法人秋田大学との連携に関する協定」を締結
 - ・秋田大学と美郷町の連携協定締結記念レクチャーコンサートが行われる
 - ・「学校再編による空き施設等の活用計画」を策定
- 5月31日
 - ・5月25日に大相撲夏場所番付発表で新十両に昇進した、寺田行政区出身の華王錦関が来庁し、町長に昇進を報告
- 7月1日
 - ・全国の名水百選の所在する市町村からなる全国水環境保全市町村連絡協議会の全国大会「名水サミットin美郷」が町公民館で行われる。
 - ・読書を推進することで思考力や判断力、表現力を培い、美郷の未来を担う人材を育成するため、小学校、中学校の9年間で読んでもほしい本として、「美郷町読書100泉(選)」300冊を選定
- 9月
 - ・町と長野県東御市が「災害時における相互応援に関する協定(防災協定)」を締結
- 10月15日
 - ・「美郷町温泉経営計画」がまとまり、平成24年4月から町内3温泉が新しく設立される会社で一括して経営することとなる。
- 10月23日
 - ・「美郷大使鼎談」美郷のまちづくりを語る「」を名水市場湧太郎で開催
- 12月17日
 - ・美郷町学友館がリニューアルオープン。第2展示室が新設されるなど、設備を充実
- 1月
 - ・空き家などの放置による危険を防止するため「美郷町空き家等の適正管理に関する条例」を施行
- 2月16日
 - ・美郷町と公立大学法人秋田県立大学が「美郷町と公立大学法人秋田県立大学との連携協力協定」を締結